

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## 研究課題：「臨床倫理コンサルテーション事例の類型化についての研究」

### 1. 研究の対象

2018年4月1日から2022年3月31日までの間に、東海大学医学部附属病院において臨床倫理コンサルテーションの対象となった患者さんです。

### 2. 研究目的・方法

近年医療現場において倫理的検討の重要性が認識され、多くの医療機関で臨床倫理コンサルテーションが実施されるようになってきました。しかし、どのような事例が倫理コンサルテーションで扱われているのか、どのように対応したのかなどについての情報は十分ではありません。そこで、本研究では、将来多機関共同でのデータベースを構築することに備えて、当院で実施された臨床倫理コンサルテーションを詳細に検討し、分類方法を提案することを目的としています。

これまでの診療で記録された情報を取得して行う研究ですので、研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

・試料：該当なし。

・診療情報等：年齢（年代）、診断名、医学的状況、全身状態・日常生活活動度、本人の意向、家族の状況、治療方針、医師・看護師・ソーシャルワーカーを含む医療・ケアチームの対応、臨床倫理コンサルテーション記録、転帰。

#### 4. 個人情報の保護

取得した情報は、解析する前に氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。情報は、鍵のかかるロッカー、研究者のみ使用できるパスワードロックをかけた電磁的記録媒体（クラウドを含む）で厳重に保管します。この研究は東海大学医学部において実施され、他の研究機関への情報提供は行いません。

取得した情報は厳重な管理のもと、研究終了後5年間、または研究結果発表後3年間のいずれか遅い時期まで保存されます。保管期間終了後には、電磁的記録は消去し、紙媒体の情報は安全な方法で廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

#### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、公益財団法人生存科学研究所からの助成金によって実施されます。営利企業からの資金提供は受けていません。

#### 6. お問い合わせ先

東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域（電話：代表 0463-93-1121 内線：2121）  
研究責任者・個人情報の管理責任者 准教授 大貫優子